

## 第 85 回(H26 年度第 10 回)MT 委員会議事録

日時: 2015 年 2 月 25 日 10:30-11:35

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井<sup>a</sup>(委員長)、阿部<sup>a</sup>、福西<sup>a</sup>、上垣外<sup>a</sup>、加瀬<sup>a</sup>、久保<sup>a</sup>、宮武<sup>c</sup>、森本<sup>a</sup>、奥野<sup>a</sup>、櫻井<sup>a</sup>、下浦<sup>b</sup>、  
上野<sup>a</sup>、上坂<sup>a</sup>、上蓑<sup>a</sup>、山口英<sup>b</sup>、今井<sup>d,†</sup>、本林<sup>a,†</sup>、吉田光<sup>a,†</sup>、田中<sup>a,†</sup>、吉田敦<sup>a,†</sup>、米田<sup>a</sup>

欠席: 延與<sup>a,†</sup>、若杉<sup>a</sup>、羽場<sup>a,†</sup>、森田<sup>a,†</sup>、岸本<sup>a,†</sup>

<sup>a</sup>RNC / <sup>b</sup>CNS / <sup>c</sup>KEK / <sup>d</sup>RIBF-UEC / <sup>†</sup>Observer

(順不同・敬称略。以下同様)

### 【報告】

#### 1. MT 実施状況(米田)

MT の実施状況について報告があった。前回 MT 委員会以降、旧施設利用の学生実験、RI 製造、Wacame 動作確認、生物照射 MT、AVF 単独の小林(義)実験を実施したこと、3 月後半から新施設 MT を実施予定であることが報告された。

#### 2. MT 委員会委員について(酒井)

次年度の MT 委員会の委員について報告があった。委員に変更はなく、CNS の下浦教授、山口講師、KEK の宮武教授の 3 氏に引き続き外部委員を務めていただくこと、大津核変換データ研究グループ高速 RI データチームリーダーが新たにオブザーバとなることが報告された。

#### 3. マシンスタディ報告(福西)

1 月 24 - 25 日に実施した Wacame 動作確認マシンスタディの報告があった。IRC から旧施設の E5 室にビームを戻すように整備したビームラインの動作を確認するもので、加速モードは通常の RRC, IRC のハーモニクスそれぞれ 9, 7 (127 MeV/u) とは異なり、ハーモニクス 5, 4 で 160 MeV/u のビームを旧施設に供給する。エネルギーを高くすることで照射試料中での飛程を長くし、LET 一定の領域を伸ばす効果がある。調整の結果、設計通りに動作することが確認できた。マシンタイムとしての最初の使用は 10 月を予定している。

#### 4. PAC 進捗状況(米田)

PAC の進捗について、以下の報告があった。

- 16th NP-PAC:(12/3 - 5 の予定)

3 日間の開催とする予定。委員は半数が新委員になる。

- 11th ML-PAC:(1/8 - 1/9):

旧施設課題 7 件が採択となった。AVF 単独実験 2 課題 8 日、RILAC 単独 2 課題 36 日、RRC 利用課題 3 課題 6 日。次回以降メールレビューとするか検討中。7 月に開催の見込み。

- 4th In-PAC: 次回未定。前回 In-PAC で採択された課題と同一内容の申請をメール審査した。

## 【議題】

### 1. 前回議事録承認(酒井)

### 2. マシンスタディ申請

マシンスタディの申請が 1 件あった。課題としては承認されたが、下期 MT は諸事情が不透明なので配分時期については別途検討することとなった。

- ・  $^{211}\text{At}$  生成のための RILAC2+RRC を用いた  $^4\text{He}$  加速試験(奥野)

RI 製造で  $^{211}\text{At}$  を生成する目的のために、 $^4\text{He}$  を RILAC2+RRC で加速する試験を実施する。RILAC+CSM で加速するマシンスタディは別に申請し承認されているが、別系統の加速の可能性を探るため RILAC2+RRC での加速を試みる。強度は 100  $\mu\text{A}$  で、ハーモニクス 9 で 1 日、11 で 1 日、合計 2 日間のマシンスタディを申請する。秋の実施を希望する。

### 3. FY2015 上期 MT スケジュールについて(酒井)

共用促進より、来年度上期の MT スケジュール案が示された。RIBF 新施設の MT は 3 月下旬から 6 月終わりまでで、 $^{238}\text{U}$  のビームで ImPACT の実験から始める。一般公開の時期にいったん旧施設の生物照射 MT をはさみ、再び  $^{238}\text{U}$  を供給する。この新施設 MT 中断期間に F8 のセットアップを MINOS に変更し、SEASTAR 実験を実施する。次に偏極重陽子の実験を実施し、この間に F8 のセットアップを再度入れ替え、 $^{78}\text{Kr}$  の実験を 4 課題実施する。その後  $^{78}\text{Kr}$  で Rare RI Ring のマシンスタディを実施し、残りの期間は  $^{70}\text{Zn}$  での新同位元素探索実験を行う。新同位元素探索実験は、春に予算の状況が明らかになるまで実施の決定を保留する。この MT スケジュール案に対し、6 月下旬の AVF 単独利用 MT を  $^{70}\text{Zn}$  の加速調整終了の時期からずらしてほしいとの要望があり、この部分を変更し承認された。

### 4. 次回以降 MT 委員会の日程

- 次回 MT 委員会は 3/18(第 3 水曜日)10:30 - で調整する。
- 次年度 MT 委員会スケジュールは、基本的に火曜日 15 時からとし、以下の日程案で調整する。  
4/28 (第 4 火曜日)15:00 - , 5/26 (第 4 火曜日) 15:00 - , 6/16 (第 3 火曜日) 15:00 - ,  
7/14 (第 2 火曜日) 15:00 - , 9/2 (第 1 水曜日) 13:30 - , 10/20 (第 3 火曜日) 15:00 - ,  
11/17 (第 3 火曜日) 15:00 - , 12/15 (第 3 火曜日) 15:00 - , 1/19 (第 3 火曜日) 15:00 - ,  
2/23 (第 4 火曜日) 15:00 - , 3/15 (第 3 火曜日) 15:00 -

(以上)